



11 月の展示情報

国内外のアーティストの展示が目白押し！
芸術の秋はまだまだ終わらない。

全戸配布

2025
11 月号11/8(土)
～12/5(金)

4 人のアーティストによる 滞在制作作品展

神聖幾何学と天使

映像や現代美術分野で活動する 4 人のアーティスト（上平晃代／平山好哉／三野綾子／吉田有徳）による滞在制作作品展。昨年秋より、長期に渡り西会津と関東を行き来しながら、製作を続けてきました。



本展示は、土地固有の地形、地質 (Geo)、観測できる星 (Meteo) や自然をリサーチし、それらを神聖幾何学的なアプローチによって表現し、概念的天使として表象、作品化する試みです。私たちの日常や人生そのものに新たな視点を加え、現実の見方に変化を与えようとする作品です。

11/8(土)15時より
レセプション&トークイベント

11/21(金)

SAYONAKIDORI
サヨナキドリ

リトアニアより 15 人のアーティストがやってきます。リトアニア国内で発表され、好評を博した作品が西会津にて上演。本作品は、作曲家・演出家の

アグネ・マトゥレヴィチューテが京都二条城にある驚張りの廊下を歩いた経験から、建物をまるで楽器のように奏でる作品を構想。

ヨーロッパ人の視点から見た日本文化の観察と解釈に基づいた本作が完成しました。

見えないものを「聴く」、聴こえないものを「見る」。その境界で遊ぶような試みであり、音楽とダンスを融合させ、出演者自身の身体と声を用いて音の織物(ソニック・ファブリック)を形づくるような作品です。

＊開始時間等、詳細は
ホームページ、SNS にてお知らせいたします11/15(土)
～Kamran Samimi
滞在制作作品展

今年 5 月に 1 か月間の滞在制作を行った Kamran Samimi さんによる作品展。自然の声に耳を傾け、石との対話を重ねる中で生まれた作品たちです。



芸術村での製作風景

Kamran さんが一旦帰国し、芸術村を去った後も、芸術村に残された石や木の作品群は、まるでこの場所の新たな住人のように存在し続けていました。

今回、再び来町した Kamran さんがそれらの作品を展示として披露します。自然との共生を感じさせる「再構築」された作品群。ぜひご覧ください。

11/16 (日)
オープニングイベント開催
(作品解説、トーク&懇親会)

11/28(金)

Laura Prochowski
Alisha Redmond

滞在制作発表／パフォーマンス

オーストラリアから 2 人のアーティストが約 3 週間、滞在します。抽象風景画・油彩画家である Laura さん、現代



Laura Prochowski

クラシック作曲家、ピアニストである Alisha さんによる「自然の共鳴を探る学際的なコラボレーション『LAND MINDS』と名付けられたプロジェクトは西会津町の風土を知り、地元との交流を通して二人の芸術的意見とレジデンスの場所の物語の両方を反映した、場所固有の作品を制作するというものです。西会津での滞在で何を感じ、どのような作品を表現するのか、とても楽しみです。

＊開始時間等、詳細は
ホームページ、SNS にて
お知らせいたします

11 月の休館日

定例休館日(月)(火)

3(月・祝)、24(月・祝)
は休まず開館します。4(火)
10(月)、11(火)
17(月)、18(火)
25(火)開館時間：10:00-17:00
入館料：町民無料
＊町外の方
大人 300 円 / 小人 100 円
未就学児は無料

「特別講評会」も企画されました。例年は審査員による入賞作品の選評動画を公開してきましたが、今回は入賞・非入賞を問わず、出品者が直接審査員や特別講師から講評を受けられる貴重な機会が設けられ、多くの参加者が熱心に耳を傾けていました。



特別講評会は熱気あふれました

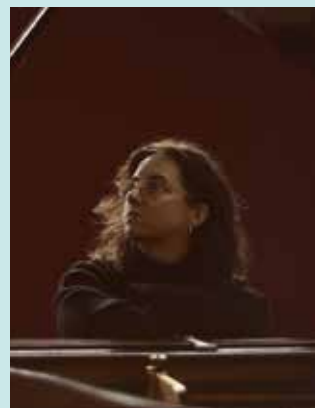


受賞者の皆さん

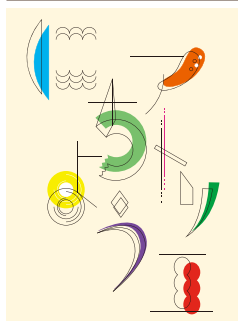
開催報告

今年は、昨年よりも 20 点多い 174 点の応募があり、その中から計 35 点の入賞作品が選ばれました。今年から新たに「審査員賞」が設けられ、より多様な表現の作品が選定されました。

授賞式は、大山さゆり太鼓による力強い演奏で幕を開け、20 回目の節目を記念して

第 20 回 西会津国際芸術村
公募展表彰式・特別講評会Laura Prochowski
ローラ・プロハウスキー
オーストラリア在住滞在期間：11/9～11/29
専門分野
抽象風景画・油彩画家Alisha Redmond
アリーシャ・レッドモンド
オーストラリア在住滞在期間：11/9～11/29
専門分野
現代クラシック作曲家
ピアニスト

滞在アーティストのご紹介



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



この時の子供達の表現方法はアートでしたが、スポーツでも遊びでも読書でも、子供の「好き！」は表現方法なんだなと感じます。そつやって自分を押し出していく、大人はそれを全力で手伝う。その大人にも好きや得意はあるので、どうしても偏りは生まれますが、それも含めてどんな子供達が表現を通して社会を知っていくことを、大人として応援したいなと思います。

もう風はすっかり冷たくなりましたが、まだ暑い日差しが照りつける毎日だった8月、芸術村で『夏もアトリエ』を開催しました。あの時に制作した作品を、公募展に出品してくれた子供がいました。作品を見て、あの暑かった日に、音と絵の具にまみれながら、一生懸命にそれぞれの「表現」を模索していた子供達の表情がまざまざと思い出されます。

にちようアトリエ11月予定表

SORRY!

11月はスペースが確保
できないため、お休みと
させていただきます
m(_ _)m



『夏もアトリエ』にてワークショップに取り組む子ども達

スタッフおすすめ 今月の本

わら加工の絵本

編：宮崎清／絵：水上みのり
発行：農山漁村文化協会



この本は、「じぶんカフェ」にて
お読みいただけます。

芸術村スタッフがオススメの本をご紹介します。
日本人が稲作を始めた時から「わら」も共に長い歴史を歩んできました。靴や雨具、縄など生活道具に使ったり、納豆づくり、家畜の餌、野菜の保存／保温壁材、最後には燃やしたり堆肥にしたりと全てが暮らしに還っていく「わら」。本当にすごい素材だと思います。

興味があつて、色々なわら細工の本を見てきたのですが、本書は絵本仕立てで、とても分かりやすくまとめられています。作り方の説明は写真やイラストで分かりやすく、踏み込んだ解説もついているので大人にも満足な内容。読みながら何か作ってみたくなる一冊です。



美味しいものや季節のコトとかいろいろ...

今年は野生動物、特にクマの目撃情報や事故のニュースが多いですね。動物が里におりてくることが珍しくなく感じる昨今。

先日、芸術村の周辺で若いイノシシがウロウロしていました。まだ若い個体と見えたが、とても痩せていて、側溝の泥や花壇の土を掘り起こして餌を探していました。近づいても人を恐れないのか餌探しに必死で気づかないのか。こんなに近い写真が撮れました。



酷暑と表現されるほど、暑かった夏のせい、その前の冬の大雪の影響か、人の目に見えるほど気候が変動するということは、人の目の届かない山奥や土中ではさらに大きな変化が起きているのかもしれない。

インスタ日記



先日開催された、公募展の表彰式、今年も軽食を交えた交流会が行われました。

町外／県外から参加される方も多いので、軽食は、地元のお母さんグループなどをお願いして、西会津らしいものを食べていただきたいとご用意しています。

今年のデザートは町内の S さんをお願いして、西会津産ブルーベリーソースがたっぷりとかかったレアチーズケーキを届けていただきました。

【HP】

【Instagram】

【Facebook】

【YouTube】



マワリテメクハ ＊季節の薬膳ノート＊ 「栗」

秋の味覚の代表とも言える栗。薬膳で「気」と「血」を補うと言われ、栗は栄養が高いだけでなく、美容効果もあるとされる食材です。体を温め、血流を良くする効果が期待でき、足腰の冷えやだるさ、血の巡りが改善することによって、肌ツヤも良くなると言われています。

こんな食べ方がオススメ

栗のポタージュ薬膳アレンジ

「材料」材料…皮をむいた栗（200g）、玉ねぎ（1/4個）、なつめ1個、コンソメ小さじ1、バター（10g）、ローリエ一枚、豆乳（100cc）、水（150cc）、塩少々

「つくりかた」

1、玉ねぎはスライスして、バターでしんなりするまで炒めたら、栗を入れて全体にバターを絡ませる

2、水、ナツメ、コンソメ、ローリエを入れて20分煮込む。

3、栗が柔らかくなったならローリエとナツメを取り除いて、ミキサーにかける。

＊注意…ミキサーにかけるときは粗熱をとってから。

4、ペーストに、豆乳を加え、滑らかになるまで4～5分煮込む。塩少々で味を調える。



【お問い合わせ】tel：0241-47-3200
mail：niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752